

「小浜温泉57」だより

国道57ボランティアサポート

がんばれ！日本 東日本大震災 支援の輪世界中に！

3月11日午後2時46分 誰もが忘れ難き瞬間である
犠牲になられた3万余人のご冥福をお祈りするとともに被災
された多くの方々に心からお見舞いを申し上げます。

全国民ひとつになって、復興支援をしなければ明日の日本は
ないのでは

選抜高校野球開会式で「人は仲間に支えられることで大きな
困難を乗り越えられると信じています。生かされている命に
感謝し、全身全霊で生々堂々と・・」悲しみに堪え選手宣誓。

先日、「雲仙市ふるさと大使」のゴローちゃん（腹話術師
城谷護）から便りが届いた。「腹話術で心の支えになればと
被災地へ行く」とのこと。命を奪われ、財産を無くした被災者
にとって精神的な苦悩は大なるものと思う。

奥尻：神戸大震災をはじめ災害地へのボランティア活動をつづける
城谷護氏に ただただ頭が下がる。

がまだせゴローちゃん！

小浜からエールをおくります。



小浜中同窓会にて

岩下忠行氏対馬へ

100年の森・田んぼの学校・ジャカランド植樹など「小浜温泉57」で主軸となっていた活動されていた岩下氏が対馬へ。

今や希少となった「対州馬」「日本蜜蜂」の保護・研究など取り組まれること。
後はどうなるのと、会員は戸惑っている。
氏の決意を蔭ながら応援するとともに、
ご活躍の情報は紙面でお伝えします。



57周年会：盆を汲み交わす岩下氏

国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所小浜維持出張所
林田雄二前所長の後任に田中裕之氏

4月1日、松尾匡明（事務）：保利利孝（技術）が赴任されました。



12日定例会「もくもく」にて

12日定例会に、新会員の長崎新聞社
雲仙支局長山口栄治氏も出席。

大地震後の観光の動向、まちづくり・
ジャカランドフェスタ・防災・環境浄化と美化について語りました。

5月定例会 11日（水）に変更

午後7時より 小浜神社前「もくもく」にて

「市長としゃべろうかい！」を企画しています

- ① 出席される方は 4月末までに事務局へご連絡ください
- ② 市長への質問・要望事項は 事前に事務局へお願ひします
当日も OKです

「小浜温泉57」事務局 竹馬朋宏

第45号

H23. 4. 19

平成22年度雲仙市民提案事業

「雲仙市民100年の森」植樹終える

標高200mから雲仙までモミジを植樹し、春の新緑・秋の紅葉の「雲仙市の美しい里づくり」めざす。本年度は諫訪の池周辺に320本。2月24日は北串小学校児童、3月11日は北串中学校生徒、13日は地元大亀自治会・山畠老人会や団体・企業・一般応募の参加者が植樹した。

平成23年度は鳥兔の杜を紅葉にする会（国見町）にバトンタッチ。この提案が市全域に広がることを念じています。



植樹の指導：岩下忠行

モミジを植樹

支柱に名前を書く

3月11日、北串中生徒56名が50本植樹。支柱には、早く大きくなって！

△ 注入〇〇、など思いおもいのことばが記されている。



13日、開式で東日本大震災の犠牲者に黙祷をささげる。記念植樹は4歳の松永悠太・奏汰くん（千々石）の双子が行った。

参加者は約100名、235本植樹。作業の後、休暇村雲仙から振る舞われた「ぜんざい」をいただく。

雲仙自然散策 ⑥ 雲仙の春を彩るツツジ



ヒカゲツツジ

ミツバツツジ

ミヤマカリシマツツジ

ヤマツツジ

17日（日）雲仙の山開きがあった。いよいよ雲仙の山も春本番
4月下旬 ヒカゲツツジが咲き、つづいてミツバツツジ：ミヤマカリシマ：ヤマツツジと 5月下旬まで彩り 人々を癒してくれる

◇ 花どきは 気候に左右される 今年は遅いかも

平成23年度会員募集！

「小浜温泉57」は 道の安全調査：雲仙市民100年の森（市民提案事業）：ジャカランド植樹：国道の花壇の植え付け管理：清掃美化：田んぼの学校etc のボランティア活動をしています

自分の街は自分達で何とかしよう！（新たな公共の理念）に ご賛同いただける会員を募集しています 会費は 年1,000円です

【担当】

富津：北野地区 城谷雅司：林田哲幸
北本町地区 佐藤靖弘：吉岡誠一
南本町地区 森田勝二：鶴殿 勝
旅館関係 高木敏子：山下浩一
その他の地区 事務局 竹馬朋宏

TEL:FAX 0957-37-2171